

自然災害などによる停電時に備えた  
ガス発電機のご提案

---

有限会社江戸一工設

# 目次

---

➤ 背景 .....	3
➤ 近年における停電状況と原因 .....	4
➤ 目的 .....	5
➤ 非常用発電機の概要 .....	6
➤ 災害時において .....	7
➤ ガス発電のメリット .....	8
➤ ガス電くんのセールスポイント .....	9
➤ ガス電くんの使用方法について.....	10

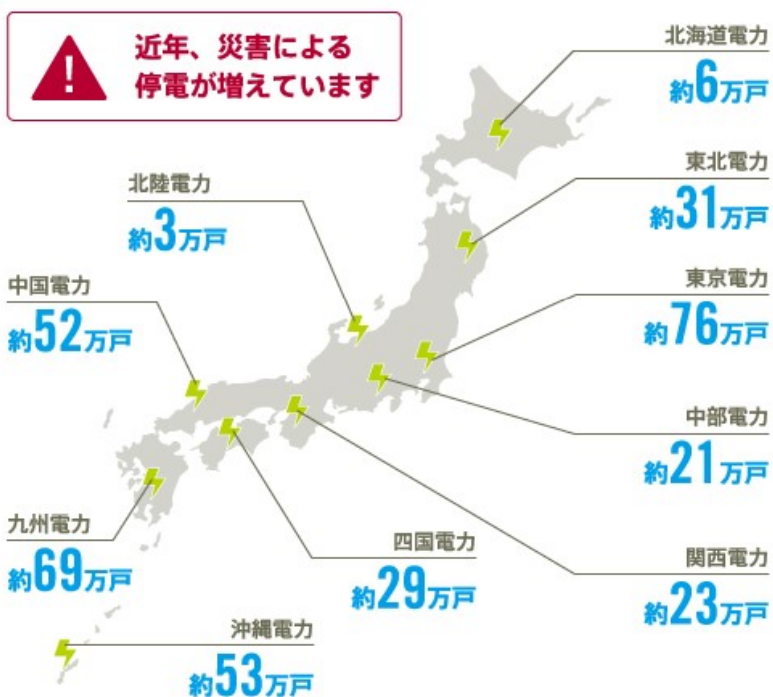
# 背景

---

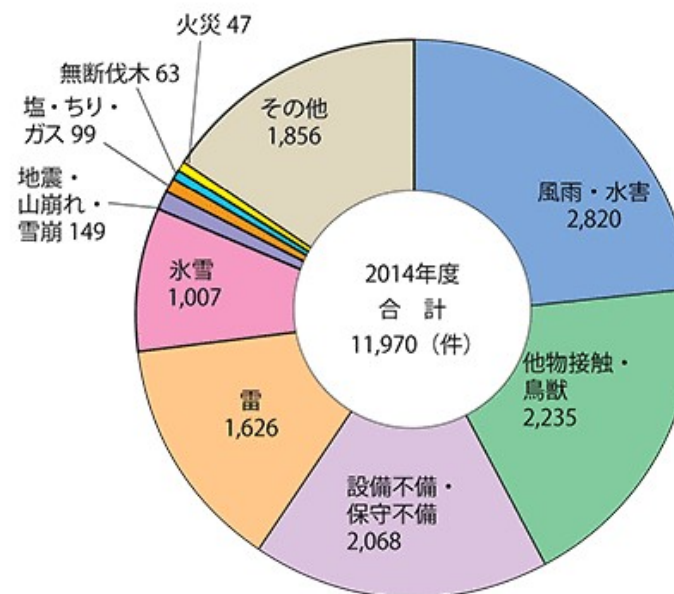
近年、日本では地震・雷・台風等の自然災害が頻繁に発生し、電力供給が途絶えることが多く、非常時の備えが必要になります。



# 近年における停電状況と原因



●原因別電気事故件数（高圧配電線路、送電線路・特別高圧配電線路）（10電力計）  
 ※高圧配電線路については供給支障事故件数を計上



2014年度 電気事業連合調べ

# 目的

---

近年、温暖化の影響による悪天候や電力ケーブルの老朽化による停電事故が多数発生しています。

停電時におけるオフィス、商業施設、住宅の  
非常用発電機をご提案します。

# 非常用発電機の概要

---

現代の建物のほぼ全てに安定した電気供給がなされています。停電時でも建物内の電気設備が常に正常に稼働するためには、品質の良い電源供給のできる**発電機が不可欠**です。

災害等により電力会社からの**電源供給が途絶えた場合**に設置している機器を作動させる為、**発電機**が必要になります。

# 災害時において

---

東日本大震災でライフラインの復旧においてLPガスは39日間で復旧しました。比べて都市ガスは55日間、電力の送電には95日間掛かりました。

停電時にスーパーやコンビニエンスストア等のレジや冷蔵冷凍設備等の電源が確保できず正常に作動しなかった為、販売の不可及び食品の廃棄が発生しました。

病院では、治療器具等が作動しなくなり、大混乱が発生しました。

# ガス発電のメリット

---

非常用発電機は、**液体燃料エンジン**と**ガス燃料エンジン**に大別されます。地球温暖化対策として政府計画(別紙参照)は**26%**のCO<sub>2</sub>削減を目標としています。

液体燃料発電機は**CO<sub>2</sub>の排出率が高く、SO<sub>x</sub>、NO<sub>x</sub>、PMも大量に排出されます**。また、**定期的な燃料の入替えが必要となりメンテナンスコストがかかります**。**ガス発電機**は低騒音で燃焼による**SO<sub>x</sub>、PMの排出が全くなく、CO<sub>2</sub>の排出率も低く抑えられています**。

経済産業省の施策により、既に全国には300箇所以上の**中核充填所**が整備され、緊急時における燃料の確保が容易にできます。

上記から、発電機の新規設置及び既存発電機との交換・併存が最良とされます。



# ガス電くんのセールスポイント

- ①ガス電くんは低コスト設置です。
- ②ガスは腐らないためメンテナンスが低コストで実現できます。
- ③一貫した工事の為、余計な費用が発生しません
- ④通常の販売やリース契約もご用意しています。(要審査)

72時間連続稼働・アイドリングなし・低騒音低振動・工事現場での使用にも耐える  
バッテリー増設可・ソーラパネル併用可・臭いがないので近隣に迷惑をかけない。



発電機単体、UPSシステム等それぞれ単体導入だけでも  
大きなメリットがあります。



システムを導入することで平時には不要な待機電力を  
100%カットする節電をしながら有事には独立電力を供給します。  
低コストについては設置コスト、メンテナンスコストです。  
通常販売やリース契約も可能です。

# ガス電くんの使用方法について

